

第十一次基本計画 実施計画（目的指向体系表）

政策目標 1 安全で安心して暮らせるまち

施策 1－1 危機管理体制の充実

施策 1－2 総合治水対策の強化

施策 1－3 災害に強い建築物や公共施設の整備

施策 1－4 生活安全の推進

施策 1－5 消防体制の強化

担当課	危機対策課・水道課・下水道課・社会福祉課・健康推進課	施策1-1の全指標達成率					
政策目標	1 安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	1 危機管理体制の充実	指標数	22	22	22	22	22
目指す姿	市民、観光客等が、自然災害等により死傷しない	達成数	14	14	0	0	0
		達成率	63.6%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)		指標数	1	1	1	1	1
		達成数	1	1	0	0	0
		達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
成果指標	発災時の人的被害者数	基準値					
		R1	目標値	0	0	0	0
		6人	実績値	0	0		
			評価	○ 達成	○ 達成		
目標値の考え方	大規模自然災害時における人命の保護を最優先とした、事前防災対策を推進していくため発災時の人的被害者数を0人に設定した。						
R4年度	(実績評価)・8月13、14日及び9月24日に大雨のため避難所を開設し、合計5名の避難者を受け入れたが、死傷者を出すような大規模な自然災害の発生はなかった。 (次年度修正点)・修正はなし。引き続き人命の保護を最優先とした事前防災対策の推進に努めていく。						

2 基本的な取組 (2桁コード)・主要内容 (4桁コード)		指標数	21	21	21	21	21	※ 基本的な取組・主要内容の達成状況	
		達成数	13	13					
		達成率	61.9%	61.9%	0.0%	0.0%	0.0%		
O1 津波避難困難地区の解消		達成状況	指標数	2	2	2	2	2	
			達成数	1	1	0	0	0	
			達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
主要内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	
O101	津波避難協力の新規指定	津波避難協力の指定数	R1	目標値	42	44	46	48	50
			39棟	実績値	39	38			
			評価	× 未達成	× 未達成				
O102	海拔表示や避難方向誘導サインの設置	津波避難標識設置に伴う新規事業数	R1	目標値	1	1	1	1	1
			1事業	実績値	1	1			
			評価	○ 達成	○ 達成				
年度評価	R4	O101 宇佐美地区で1件、営業を廃止するとともに津波避難協力の指定を解除してほしい旨の申し出があり棟数は減となった。津波避難困難地域の解消率については変わらず99.1%となっており、残りの0.9%については津波避難協力の指定では解消されない状況であるが、避難の選択肢を拡げるために引き続き指定に向けた働きかけをしていく。							
		O102 市内の電柱に設置されている海拔表示看板を146か所交換し、68か所の撤去を実施した。今後についても、これまでに設置した海拔表示や避難方向誘導サインの状況を確認し更新していく。							

O2 防災意識及び知識の向上		達成状況	指標数	3	3	3	3	3	
			達成数	1	2	0	0	0	
			達成率	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	
主要内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	
O201	美しい伊豆創造センターと連携した防災研修	美しい伊豆創造センターと連携した防災研修開催回数	R1	目標値	1	1	1	1	1
			1回	実績値	0	3			
			評価	× 未達成	○ 達成				
O202	防災講演会の実施	防災講座の実施回数	R1	目標値	10	10	10	10	10
			10回	実績値	11	18			
			評価	○ 達成	○ 達成				
O203	防災訓練の実施	自主防災組織における地域で行われる防災訓練の実施率	R1	目標値	100	100	100	100	100
			82%	実績値	94.0	96.4			
			評価	× 未達成	× 未達成				
年度評価	R4	O201 美しい伊豆創造センターと連携した研修会等の開催はなかったが、3回にわたり開催された委員会に出席することで、情報の共有を図れたため出席数を実績値とし、目標達成とする。今後は、美しい伊豆創造センターが火山に関する防災講座等の開催を予定した際には、必要な情報を提供いただけるよう働きかけていく。							
		O202 令和4年度については、対面で講座を実施することへの市民の抵抗が軽減したため、目標値を大きく上回る実施回数となった。令和5年度については、引き続き目標値の達成を目指し、市民等からの開催要望に応えていく。							
		O203 168の自主防災会のうち162の自主防災会が防災訓練を実施した。実施率は前年度に比べ上昇したが、目標値の達成とはならなかった。引き続きすべての自主防災会が防災訓練を実施するよう呼びかけていく。							

O3 防災拠点施設の環境整備		達成状況	指標数	2	2	2	2	2	
			達成数	2	2	0	0	0	
			達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
主要内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	
O301	避難生活用食糧及び防災資機材の備蓄	市の緊急物資(食料)の備蓄量(約10万食を維持)	R1	目標値	10万	10万	10万	10万	10万
			10万食	実績値	10万	13万			
			評価	○ 達成	○ 達成				
O302	避難所の環境整備	避難所運営訓練の実施回数	R2	目標値	1	1	1	1	1
			2回	実績値	1	1			
			評価	○ 達成	○ 達成				
年度評価	R4	O301 令和4年度末の備蓄数としては13万食となっているが、令和5年度当初に約2万食が期限切れとなる。常に食料備蓄の目安としている10万食を確保するよう計画的な購入を継続していく。							
		O302 支部職員活動説明会に合わせて避難所運営訓練を実施した。今後については、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、5類へと移行されることに伴う運営方法の変更についての情報共有を図り、同様の形で実施していく。							

O4 地域防災力の強化			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	0	0	0	0	0		
				達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0401 自主防災組織への防災資機材の交付	自主防災組織の防災資機材充足率	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課	
		64%	実績値	59.0	48.0						
			評価	× 未達成	× 未達成						
R4	0401 防災資機材の交付については、自主防災組織の加入人数やその地域の居住人数等を参考に交付する資機材の数量等を決定している。資機材の充足率については、高い水準ではないが、地域に本当に必要な資機材を選定し交付することで自主防災組織の防災力向上に寄与するよう、今後も継続して交付していく。										

O5 情報伝達体制の多重化			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	2	1	0	0	0		
				達成率	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0501 同報無線設備の整備	同報無線屋外拡声子局の充足率	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課	
		100%	実績値	100	100						
			評価	○ 達成	○ 達成						
0502 戸別受信機の整備	テレビブッシュサービスの普及(登録世帯数)	R1	目標値	250	290	330	370	400	世帯以上	危機対策課	
		144世帯	実績値	202	147						
			評価	× 未達成	× 未達成						
0503 メールマガジンの登録推進	メールマガジン(防災情報)登録者数	R1	目標値	10,000	10,500	11,000	11,500	12,000	人以上	危機対策課	
		8,942人	実績値	10,301	10,075						
			評価	○ 達成	× 未達成						
R4	0501 同報無線屋外拡声子局については、充足率100%を維持するよう、市民からの要望等があった際には迅速に検討し対応していく。										
	0502 テレビブッシュサービスについては、昨年度より導入を進めている緊急告知ラジオの普及に伴い、情報を取得する手段が多様化し選択できるようになったため、他の方法を選択したことにより、登録者数が減少したものとと思われる。それぞれの方法での登録者数増のため、本サービスについても引き続き周知していく。										
	0503 メールマガジンの登録者数については前年と比べ226人減少しているが、防災情報の取得手段としてLINEを選ぶ方が増えているため、LINE登録者は前年より1,231人増加している。今後については、各媒体の登録者数の増減を注視する中で、より多くの人に情報を届けるための手段について、引き続き検討していく。										

O6 帰宅困難者対策の整備			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0601 宿泊施設等との災害協定による協力体制の強化	災害時相互応援協定の有効性を高める協議回数	R1	目標値	1	1	1	1	1	回以上	危機対策課	
		1回	実績値	1	1						
			評価	○ 達成	○ 達成						
R4	0601 災害時相互応援協定等については、宿泊施設に限らず、締結先の事業者と常にお互いの情報が最新のものとなるよう、担当者等に変更が生じた際には情報を共有している。										

O7 避難行動要支援者避難支援計画の充実			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	2	2	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0701 避難行動要支援者名簿の配付	民生委員児童委員への名簿の配付率	R2	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福祉課	
		100%	実績値	100	100						
			評価	○ 達成	○ 達成						
0702 要支援者の実情把握	避難行動要支援者名簿を活用した対象者の実情把握(率)	R2	目標値	100	100	100	100	100	%	社会福祉課	
		100%	実績値	100	100						
			評価	○ 達成	○ 達成						
R4	0701 民生委員児童委員に対し避難行動要支援者名簿を配付したことで、地域住民の実態把握や見守り活動に活用することができた。										
	0702 名簿情報の更新を行い、避難支援体制の整備に向けて、対象者の情報収集に努めた。										

08 上下水道施設に係る災害・事故時に迅速に対応できる体制づくり			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	3	3	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0801	緊急時における資材・配管材の確保	備蓄資材の品目数	R2	目標値	237	237	237	237	237	品目	水道課
			237品目	実績値	237	237					
			評価	○ 達成	○ 達成						
0802	応援協力体制の確立	他事業体との協定の締結	R2	目標値	7	7	7	7	7	団体	水道課
			7団体(維持)	実績値	7	7					
			評価	○ 達成	○ 達成						
			R2	目標値	1	1	1	1	1	団体	下水道課
			0団体(期間中1団体と締結)	実績値	1	1					
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価	R4	0801 災害や突発的な漏水事故に備えるため、引き続き備蓄資材の確保に努め、緊急対応できる体制を整える。									
	R4	0802 大規模災害等に備え、他の事業団体との応援協力体制の確保について努めていく。【水道課】 R3に目標を達成したことから、今後は協定団体の数を増やして行きたい。【下水道課】									

09 感染症対策の推進			達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容		管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0901	感染症に関する正しい知識の普及	講習会開催数	R1	目標値	10	10	10	10	10	回	健康推進課
			4回	実績値	5	5					
			評価	× 未達成	× 未達成						
0902	感染症を予防する生活習慣づくり	肺がん・肺結核検診受診率	H30	目標値	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	%	健康推進課
			11.4%	実績値	R6.2公表	R7.2公表					
			評価								
0903	災害時の感染症予防について関係医療機関との連携強化	災害時医療救護等対策連絡会の実施回数	R1	目標値	2	2	2	2	2	回	健康推進課
			2回	実績値	0	1					
			評価	× 未達成	× 未達成						
0904	感染症対策を踏まえた避難所運営マニュアルの整備	避難所運営マニュアルの見直し回数	R1	目標値	1	1	1	1	1	回	危機対策課
			1回	実績値	1	1					
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価	R4	0901 保健委員の研修会で感染予防の研修を実施。特に手洗いの重要性をPRするために手洗いチェッカーを用いて、保健委員が自ら「正しい手洗い方法」についての研修を行ったが未達成であった。今後、福祉施設等から講習会開催の依頼があった際には、健康の社会的決定要因に考慮しながら開催方法を検討していく。									
	R4	0902 令和7年2月公表									
	R4	0903 新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大に伴い、令和3年度と同様に中止した。今後、新型コロナウイルスによる制限が緩和された中で、健康の社会的決定要因を考慮しながら開催出来るように方法を検討し、引き続き関係医療機関との連携強化に努める。									
	R4	0904 4月に実施する避難所運営訓練に合わせ、前年度の運用結果等を考慮し最新の情報に改訂している。									

担当課	建設課・危機対策課・産業課	施策1-2の全指標達成率					
政策目標 1	安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 2	総合治水対策の強化	指標数	15	15	15	15	15
目指す姿	市域で水害や土砂災害が発生しない	達成数	12	13	0	0	0
		達成率	80.0%	86.7%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	河川が溢れる件数	指標数	2	2	2	2	2	単位	担当課	
		達成数	1	1	0	0	0			
		達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
成果指標 1	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	件	建設課		
R1	目標値	0	0	0	0	0				
0件	実績値	0	0							
目標値の考え方	雨天時における河川の流下能力・危険箇所の把握、時間雨量50mmに対応できる河川及び水路の計画的な整備、河川等の補修に関する市民要望を迅速かつ的確に対応して被害を無くす。									
成果指標 2	急傾斜地崩壊危険区域指定の総指定箇所数	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	か所	建設課	
		R1	目標値	35	36	37	38			39
		34か所	実績値	34	34					
目標値の考え方	急傾斜地崩壊危険区域指定の促進、事業における地域住民との調整を行い県へ要望する箇所数を1箇所以上とする。									
R4年度	1(実績評価)・適宜、危険箇所の修繕、溢水箇所の改修を行い、気象情報を注視しパトロールを実施したことにより、河川及び水路の溢水による被害を防止した。 (次年度修正点)・定期パトロールを強化するとともに、危険箇所の把握を行い、日常的な維持管理に努める。									
	2(実績評価)・要望箇所(見晴町)において、静岡県急傾斜地崩壊対策事業費補助金(指定促進)の要求を行った。 (次年度修正点)・地元説明会を適宜行い、受益者等の理解を得て、区域指定を促進する。									

2 基本的な取組(2桁コード)・主な内容(4桁コード)	指標数	13	13	13	13	13	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況		
	達成数	11	12	0	0	0			
	達成率	84.6%	92.3%	0.0%	0.0%	0.0%			
O1 河川及び水路の整備促進及び維持管理	達成状況	指標数	5	5	5	5	5	単位	担当課
	達成数	5	5	0	0	0			
	達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	建設課
		R1	目標値	100	100	100	100		
O101	雨天時における河川の流水能力・危険箇所の把握	大雨後のパトロールの実施率	100%					%	建設課
R1	実績値	100	100						
O102	時間雨量50mmに対応できる河川及び水路の計画的な整備	整備河川数(累計)	1河川					河川	建設課
R1	目標値	1	2	3	4	5			
O103	河川等の補修に関する市民要望への迅速かつ的確な対応	修繕等の処理率(地域応急処理事業)	100%					%	建設課
R1	実績値	100	100						
O104	事業における地域住民との調整	県事業における地元住民の調整件数	0件					件	建設課
R1	目標値	1	1	1	1	1			
O105	県への要望活動の推進	県事業の実施回数	1回					回	建設課
R1	実績値	2	1						
R4年度評価	O101 大雨時におけるパトロールの実施により、危険箇所等の把握を行い、日常点検・維持管理に努めることができた。								
	O102 普通河川ゆが及び鎌田地内水路の改良事業については、継続して実施している。吉田地内水路の改良事業については、単年度で整備を完了した。								
	O103 市民要望に対し、現場確認及び業者依頼を早急に行い、適切な維持管理に努めることができた。								
	O104 主要地方道伊東修善寺線を横断している床板工事や浚渫工事について調整を行った。								
	O105 二級河川烏川(根継)の整備を行った。								

02 砂防及び急傾斜地崩壊防止事業の促進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	2	2	0	0	0		
				達成率	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%		
			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0201	急傾斜地崩壊危険区域指定の促進	年間指定箇所数 * 指定箇所は事業化決定	R1 0か所	目標値	1	1	1	1	1	か所 以上	建設課
				実績値	0	0					
				評価	× 未達成	× 未達成					
0202	事業における地域住民との調整	県事業における地元住民の調整件数	R1 0件	目標値	1	1	1	1	1	件 以上	建設課
				実績値	1	1					
				評価	○ 達成	○ 達成					
0203	国県への要望活動の推進	県事業の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回 以上	建設課
				実績値	2	1					
				評価	○ 達成	○ 達成					
年度評価 R4	0201 要望箇所（見晴町）において、静岡県急傾斜地崩壊対策事業費補助金（指定促進）の要求を行った。今後も砂防事業及び急傾斜事業について、広報及び周知等を行い、各事業の促進に努める。										
	0202 砂防堰堤の浚渫事業にて、地元調整を行った。										
	0203 急傾斜地崩壊防止事業として、水落急傾斜地崩壊対策事業が継続実施中である。										

03 風水害時危険箇所の周知			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0301	新たに土砂災害警戒区域に指定された地域住民へのハザードマップの作成及び配布並びに活用	新たに土砂災害警戒区域に指定された地域住民へのハザードマップの配布率	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	% 以上	危機対策課
				実績値	100	100					
				評価	○ 達成	○ 達成					
年度評価 R4	0301 土砂災害警戒区域の指定については令和元年度末で一旦完了し、ハザードマップが掲載された防災総合ガイドブックを令和2年度に作成し全戸配布を行った。それ以降新規の指定はなし。										

04 風水害を想定した訓練の実施			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	0	1	0	0	0		
				達成率	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0401	水防・土砂災害訓練の実施	水防・土砂災害訓練の実施率	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	% 以上	危機対策課
				実績値	0	100					
				評価	× 未達成	○ 達成					
年度評価 R4	0401 十足区をメイン会場として土砂災害・水防訓練を実施した。令和5年度以降も土砂災害警戒区域のある行政区をメイン会場に選定し訓練を実施することで、住民の防災意識向上に努めていく。（令和5年度は宇佐美区を予定）										

05 山林の機能保全の促進			達成状況	指標数	3	3	3	3	3		
				達成数	3	3	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
			基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課
0501	危険箇所の把握	山林パトロール	R1 年1回	目標値	1	1	1	1	1	回 以上	産業課
				実績値	1	1					
				評価	○ 達成	○ 達成					
0502	事業における地元住民との調整	静岡県事業における地元住民との調整件数	R1 年1件	目標値	1	1	1	1	1	件 以上	産業課
				実績値	1	1					
				評価	○ 達成	○ 達成					
0503	国県への働きかけ	静岡県への要望件数	R1 年1件	目標値	1	1	1	1	1	件 以上	産業課
				実績値	2	1					
				評価	○ 達成	○ 達成					
年度評価 R4	0501 市内の山林パトロールを実施し、崩落危険箇所の把握に努めた。										
	0502 治山事業要望箇所について、地元住民と現地調査等を行った。										
	0503 静岡県に治山事業の要望を行った。										

担当課	危機対策課・水道課・下水道課・建設課・建築住宅課・産業課	施策1-3の全指標達成率					
政策目標 1	安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 3	災害に強い建築物や公共施設の整備	指標数	14	14	14	14	14
目指す姿	建築物の耐震性等の安全性が確保されている	達成数	6	7	0	0	0
		達成率	42.9%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	指標数	3	3	3	3	3	単位	担当課	
		達成数	2	2	0	0			0
		達成率	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%			0.0%
成果指標 1	市有建築物の耐震化率	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	危機対策課
R1		目標値	100	100	100	100	100		
95.3%		実績値	95.2	95.2					
目標値の考え方	「伊東市が所有する公共建築物の耐震化計画」に基づき、計画的な耐震化を進め、地震災害時における建物の倒壊等による人的被害を防ぐため、市有建築物の耐震化率を100%に設定した。								
成果指標 2	港湾施設の整備要望の実施箇所数 (累計)	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	か所	建設課
R2		目標値	2	4	6	8	10		
2か所		実績値	4	5					
目標値の考え方	白石防波堤延伸事業を含めた伊東港における、港湾整備を港湾施設管理者（静岡県）に要望した実施箇所数を年間2箇所以上とする。								
成果指標 3	民間住宅の耐震化率	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	建築住宅課
R1		目標値	83.5	84	84.5	85	86		
83%		実績値	83.9	84.3					
目標値の考え方	平成25年から平成30年までの耐震化率を算出した結果、各年約0.5%の上昇が確認できたことから、引き続き年0.5%以上の耐震化率の向上を目標とし86%と目標値を設定した。								
R4年度	1 (実績評価) ・令和4年度については市有建築物の状況に変化はなく前年度と同じ数値となっている。 (次年度修正点) ・引き続き市有建築物の耐震化率100%を目標として計画を推進していく。								
	2 (実績評価) ・白石防波堤延伸、浮桟橋改修、第一防波堤改良、小浦防波堤改良、湯川東離岸堤改良を行った。 (次年度修正点) ・引き続き、伊東港整備事業の推進について要望を継続していきたい。								
	3 (実績評価) ・耐震化率の実績値は、昭和56年以前の木造住宅の補強工事に加えて解体工事が増加したことで目標値を上回った。 (次年度修正点) ・耐震補強の必要性や補助金の活用に対する啓発を継続して進めていくことで、民間住宅の耐震化率の向上を図る。								

2 基本的な取組 (2桁コード) ・主な内容 (4桁コード)	指標数	11	11	11	11	11	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況				
	達成数	4	5	0	0	0					
	達成率	36.4%	45.5%	0.0%	0.0%	0.0%					
O1 旧耐震基準市有建築物の耐震化計画の充実・耐震化整備推進	達成状況	指標数	3	3	3	3	3	単位	担当課		
		達成数	0	0	0	0	0				
		達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	危機対策課	
O101	旧耐震基準の市有建築物耐震化の具体的な進め方の検討・決定	未耐震化市有建築物(12棟)の耐震化実施方法の決定率	R1	目標値	20.0	30.0	40.0	50.0			60.0
			0%	実績値	0	0					
O102	耐震診断の実施	市有建築物の耐震診断の実施率(未診断 26棟)	R1	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課
			86%	実績値	86.0	86.0					
				評価	× 未達成	× 未達成					
O103	継続活用する旧耐震基準市有建築物の耐震補強及び建て替えの実施	旧耐震基準市有建築物の耐震補強及び建て替え等の実施率(12棟)	R1	目標値	10.0	20.0	30.0	40.0	50.0	%	危機対策課
			0%	実績値	0	0					
				評価	× 未達成	× 未達成					
年度評価	R4	O101 市有物件の耐震化診断及び補強、建て替え等の実施については、建物の所管課の判断となっている。耐震化診断及び補強、建て替え等の事業予算の3分の1が補助される県の「地震・津波対策等減災交付金」の活用を各課に案内しているが、事業費が大きく、策定した「伊東市が所有する公共建築物の耐震化計画」のとおりに進捗していない状況である。今後についても、引き続き交付金の活用を各課へ促し、各指標の目標値の達成を目指していく。									

02	緊急避難路や輸送路の確保のための港湾整備の推進		達成状況	指標数	3	3	3	3	3	単位	担当課
			達成数	3	2	0	0	0			
			達成率	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		
0201	白石防波堤延伸事業	年度別進捗率	R1	目標値	50.0	62.5	75.0	87.5	100	%	建設課
			40%	実績値	50.0	50.0					
			評価	○ 達成	×	未達成					
0202	港湾施設改修事業	改修箇所数	R1	目標値	2	2	2	2	2	箇所	建設課
			2箇所	実績値	2	4					
			評価	○ 達成	○ 達成						
0203	港湾整備のための国・県への働きかけ	要望等回数	R1	目標値	1	1	1	1	1	回	建設課
			1回	実績値	1	1					
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価	R4	0201 全体計画L=66m(ケーソンN=4函)のうち、L=33m(ケーソンN=2函)が完了した(繰越事業)。今後も早期完成に向け要望を行っていく。									
	R4	0202 浮桟橋改修、第一防波堤改良、小浦防波堤改良、湯川東離岸堤改良を行った。									
	R4	0203 伊東港湾整備事業の推進として、白石防波堤延伸事業の早期完成、観光浮桟橋及び港湾施設の高波対策の強化についての要望を行った。									

03	漁港機能維持のための整備推進		達成状況	指標数	1	1	1	1	1	単位	担当課
			達成数	0	0	0	0	0			
			達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		
0301	機能保全計画に基づく施設維持管理の実施	老朽化施設の整備件数	R2	目標値	-	-	-	-	1	件	産業課
			1件	実績値	0	0					
			評価	-	-						
年度評価	R4	0301 漁港施設の整備については、予算の確保等が厳しいため、実施に至らなかったが、補助金の活用などを視野に入れながら、計画的な維持管理に努めていく。									

04	上下水道管路更新(耐震化)事業の推進		達成状況	指標数	2	2	2	2	2	単位	担当課
			達成数	1	1	0	0	0			
			達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		
0401	効率的な管路の更新事業の実施	更新距離数	R2	目標値	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	km/年	水道課
			1.0km/年	実績値	0.7	1.3					
			評価	×	未達成	×	未達成				
			R2	目標値	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25	km/年	下水道課
			0.20km/年	実績値	0.42	0.42					
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価	R4	0401 施工箇所において、既設埋設管(下水道・ガス・温泉)が混在しており、配水管理設スペースが限られたことにより工事進捗に遅れが生じ、年度内完成が困難となった。令和5年度は上記問題の影響が少ない施工箇所であるため、実績値は増となる見込みである。【水道課】 伊東市下水道ストックマネジメント計画に基づき管きよの耐震性も備えた改築工事を行っており、また、当該計画外でも調査等で緊急度が高い管きよは随時改築を行っていることから、令和4年度においては目標値よりも実績値が上回る結果となった。【下水道課】									

05	既存木造住宅の無料耐震診断及び耐震補強工事の推進		達成状況	指標数	2	2	2	2	2	単位	担当課
			達成数	0	2	0	0	0			
			達成率	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
主な内容		管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7		
0501	昭和56年5月以前に建築された木造住宅を対象とした「耐震性向上の必要性」の啓発	個別訪問の実施回数	R2	目標値	3	3	3	3	3	回	建築住宅課
			1回	実績値	1	8					
			評価	×	未達成	○ 達成					
0502	補助制度を活用した無料耐震診断及び耐震補強工事の推進	耐震診断件数及び補強工事件数	R2	目標値	50	50	50	50	50	件	建築住宅課
			50件	実績値	41	125					
			評価	×	未達成	○ 達成					
年度評価	R4	0501 コロナ禍の中、計画通りに個別訪問を実施し、目標回数を上回ることができた。引き続き個別訪問を行い、啓発を図る。									
R4	0502 昨年度の対応を踏まえ、DMの送付による周知に努め、さらに個別訪問の実施も行ったことで耐震診断の件数が上回り目標件数を大きく上回ることができた。引き続き周知に努め、継続的な目標値の達成を図る。										

担当課	危機対策課・市民課		施策1-4の全指標達成率					
政策目標	1	安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野	4	生活安全の推進	指標数	16	16	16	16	16
目指す姿	市民等が交通事故や犯罪が少なく、安心して暮らすことができる		達成数	8	11	0	0	0
			達成率	50.0%	68.8%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	指標数	2	2	2	2	2
	達成数	2	2	0	0	0
	達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

成果指標 1	市内における刑法犯認知件数 (暦年)	基準値 R1 324件	R3	R4	R5	R6	R7	単位 件 以下	担当課 危機対策課	
			目標値	310	300	290	280			270
			実績値	245	293					
目標値の考え方		市内における刑法犯認知件数は、令和元年実績324件であり、過去10年において、54.4%と大幅に減少している。しかし、各年における減少率には差があるため、直近3年間の平均減少率を計算し、各年3%程度減少を見込む中で、令和7年270件とした。								

成果指標 2	市内における人身交通事故発生件数 (暦年)	基準値 R1 367件	R3	R4	R5	R6	R7	単位 件 以下	担当課 危機対策課	
			目標値	330	310	290	275			260
			実績値	270	267					
目標値の考え方		市内における人身交通事故発生件数は、令和元年実績367件であり、過去10年において、37.3%と減少している。しかし、各年における減少率には差があるため、直近5年間の平均減少率を計算し、各年5.3%程度減少を見込む中で、令和7年260件とした。								

R4年度	1 (実績評価) ・前年度と比較し、件数が増加したが目標は達成している。
	(次年度修正点) ・これまで新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、啓発活動に一定の制約があったが、令和5年度からは制約がなくなるため、より啓発活動に注力し、目標の達成とともに前年比減を目指していく。
	2 (実績評価) ・目標を十分に達成できており、諸般の交通安全啓発活動が実績に繋がっている。
(次年度修正点) ・今後についても、継続して目標達成となるよう基本的には現状の活動を踏襲し、新しい活動内容についても検討していく。	

2 基本的な取組 (2桁コード) ・主な内容 (4桁コード)	指標数	14	14	14	14	14	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況
	達成数	6	9	0	0	0	
	達成率	42.9%	64.3%	0.0%	0.0%	0.0%	

O1 特殊詐欺に対する社会的認知度の向上	達成状況	指標数	2	2	2	2	2				
		達成数	0	2	0	0	0				
		達成率	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
O101 防犯用電話自動応答録音機の貸出情報の発信	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 台 以上	担当課 危機対策課	
				目標値	10	15	20	25			30
				実績値	3	20					
O102 年金支給日におけるオレオレ詐欺撲滅キャンペーンの推進	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 回 以上	担当課 危機対策課	
				目標値	12	12	12	12			12
				実績値	11	12					
R4年度評価	O101 令和4年度については目標値を上回る累計20台の貸し出しとなった。増え続ける特殊詐欺の被害を未然に防ぐため、令和5年度以降も目標値達成を目指し、必要な家庭への貸出につながるよう周知を図っていく。										
	O102 ATMが設置されているショッピングモールや銀行等で、オレオレ詐欺撲滅のチラシや啓発グッズの配布を毎月行った。令和5年度以降も開催回数の目標値達成を目指すとともに、実施日についても年金支給日等の効果的な日程での実施を心掛けていく。										

※1 令和2年度からの新たな取組であり、実績未確定のため基準値を一とした。

O2 犯罪のない環境づくりの促進	達成状況	指標数	4	4	4	4	4				
		達成数	1	2	0	0	0				
		達成率	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%				
O201 青色防犯パトロールの充実	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 回 以上	担当課 危機対策課	
				目標値	13	14	15	16			17
				実績値	11	12					
O202 不審者対応訓練等の訓練補助	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 回 以上	担当課 危機対策課	
				目標値	1	1	1	1			1
				実績値	0	1					
O203 メールマガジンによる定期的な情報発信	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 回 以上	担当課 危機対策課	
				目標値	4	4	4	4			4
				実績値	0	2					
O204 犯罪不安0運動期間中の防犯啓発事業の充実	主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	単位 人 以上	担当課 危機対策課	
				目標値	100	150	200	250			300
				実績値	150	200					

R4年度評価	O201 令和4年度については毎月1回の計12回実施した。令和5年度以降については、毎月1回の実施に加え、別に実施する啓発運動やキャンペーン等の開催時にも実施を検討し、目標値の達成を目指していく。									
	O202 警察が事業者を対象に実施する不審者対応訓練の補助的な役割として参加し、事業者の対応技術の習得及び向上を図っていく。(令和4年度はコンビニ強盗の対応訓練)									
	O203 令和4年度については、防犯用電話自動応答録音機の貸出及び県警が新しく開発したアプリ「どこでもポリス」の周知のためのメールマガジンの配信を行った。令和5年度については、市民に必要な防犯情報を届けるため、配信内容を精査する中で目標回数の達成も目指していく。									
	O204 令和4年度からは、それまで新型コロナウイルス感染症の影響により展示のみとしていたフェアの内容を従前の内容に戻して実施し、目標値を上回る来場者数となった。今後についても、より多くの市民に来場いただけるよう内容を精査し、周知を図っていく。									

※2 令和3年度からの新たな取組のため基準値を一とした。

※3 令和元年度は、台風の影響により中止。令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、展示のみ実施し来場者数をカウントしていないため、基準値を一とした。

O3 歩行者の安全確保			達成状況	指標数	4	4	4	4	4		
				達成数	2	2	0	0	0		
				達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0301 交通指導員による交通指導	市内小学校への配置率	R1 70%	目標値	100	100	100	100	100	% 危機対策課		
			実績値	66.0	78.0						
			評価	× 未達成	× 未達成						
0302 交通安全指導員による交通指導	交通安全教室等の交通安全指導の実施回数	R1 194回	目標値	200	200	200	200	200	回 危機対策課	以上	
			実績値	165	188						
			評価	× 未達成	× 未達成						
0303 ピカッと作戦の推進	ピカッと作戦事業の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回 危機対策課	以上	
			実績値	1	1						
			評価	○ 達成	○ 達成						
0304 通学路点検事業の補助	通学路点検事業の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回 危機対策課	以上	
			実績値	1	1						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価 R4	0301 令和4年度については、市内9小学校中7小学校に交通指導員を配置した。小学校統廃合により令和5年度からは7小学校となる。引き続き全ての小学校への配置を目指していく。										
	0302 交通指導については、新型コロナウイルス感染症の影響で思うように開催できない時期が続いていたが、令和4年度も目標値の達成には至らなかったものの実施回数は増となっている。令和5年度以降は、目標回数を達成できるよう交通安全指導員との更なる連携を図っていく。										
	0303 冬季における早めのライト点灯を呼びかける本事業については、年末の交通安全県民運動において、反射材を配布するなど啓発活動を実施したため目標達成とした。次年度以降も交通事故件数の減少に寄与するよう、工夫した事業実施を継続していく。										
	0304 各小学校、幼稚園、保育園から点検の要望のあった、通学路及び園児等の移動経路について2日間をかけ危険箇所の点検を実施した。今後についても、各学校及び園からの意見をしっかりと聴取し、危険箇所の点検に努めていく。										

O4 交通事故を発生させない環境づくり			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0401 高齢者運転免許証自主返納支援事業の促進	高齢者運転免許証自主返納者数	R1 367人	目標値	440	450	460	470	480	人 危機対策課	以上	
			実績値	331	268						
			評価	× 未達成	× 未達成						
0402 四季の交通安全運動における交通安全啓発事業の充実	四季の交通安全運動期間中における交通安全啓発に関するメールマガジンの発信回数	— ※4	目標値	4	4	4	4	4	回 危機対策課	以上	
			実績値	4	4						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価 R4	0401 本市では、免許証返納者に対し運転経歴証明書の発行手数料を補助しており、静岡県警では運転免許証自主返納者等サポート事業として、自主返納者に多様なインセンティブを付与する事業を実施しているが、返納者数は減となった。今後については、情報発信を引き続き継続していく中で、補助やサポート事業についても広く周知し、高齢者の自主返納を促していく。										
	0402 季節ごとに実施する交通安全運動の初日に、市の広報及びメールマガジンで交通安全啓発に関する情報を発信した。今後についても、同様に実施していく。										

※4 令和3年度からの新たな取組のため基準値を一とした。

O5 消費者被害防止対策及び正しい消費行動の推進			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	2	2	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
0501 消費生活相談の強化	研修会の受講回数	R1 14回	目標値	18	18	18	18	18	回 市民課	以上	
			実績値	28	22						
			評価	○ 達成	○ 達成						
0502 消費生活特別講座の開催等の啓発活動の充実	啓発活動の実施回数	R1 50回	目標値	52	54	56	58	60	回 市民課	以上	
			実績値	53	58						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価 R4	0501 オンラインで開催される研修会へ積極的に参加し目標を達成できた。悪質・巧妙化していく消費者トラブルの解決のため、今後も積極的に研修を受講していく。										
	0502 消費者被害防止のため、市民を対象とした消費生活特別講座、街頭啓発、メールマガジン配信、広報いとう、市ホームページでの啓発を行った。今後も継続的に啓発活動を実施していく。										

担当課	危機対策課	施策1-5の全指標達成率					
政策目標 1	安全で安心して暮らせるまち	年度	R3	R4	R5	R6	R7
施策分野 5	消防体制の強化（消防団体制の強化・消防水利の充実）	指標数	9	9	9	9	9
目指す姿	市民が火災を始めとする災害から守られ安心して暮らすことができる	達成数	5	6	0	0	0
		達成率	55.6%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%

1 成果指標 (KPI)	消防団員充足率<4月1日時点>	指標数	4	4	4	4	4	単位	担当課
		達成数	1	3	0	0	0		
		達成率	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
成果指標 1	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	危機対策課	
99.2%	R2	目標値	100	100	100	100			
	実績値	97.6	93.5						
目標値の考え方	災害等発生時に市民の生命・財産を守る消防活動を安全かつ円滑に実施するため、消防団員充足率を100%に設定した。								
成果指標 2	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	件	危機対策課	
1件	R1	目標値	0	0	0	0			
	実績値	3	0						
目標値の考え方	災害活動・消防団活動を安全に実施することを目標に、公務災害発生件数を0に設定した。								
成果指標 3	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	危機対策課	
100%	R1	目標値	100	100	100	100			
	実績値	66.1	100						
目標値の考え方	火災予防広報の実施及び火災発生時での迅速な対応を目標に、夜警実施率を100%に設定した。								
成果指標 4	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	%	危機対策課	
75%	R1	目標値	76	77	78	79			80
	実績値	76	83						
目標値の考え方	消防水利不足解消を図るため、未整備地区に消防水利を整備することを目標に、消防水利充足率を80%以上とした。								
R4年度	1 (実績評価) ・消防団条例における定数506人に対し、473人の登録となった。 (次年度修正点) ・若年層消防団員等の減少に伴い、地域によっては分団定数を満たすことができない分団も出てきていることから、引き続き消防団員の募集を働きかけていくことに加え、現状に見合った条例定数の見直しも含めた協議をしていく。								
	2 (実績評価) ・消防団活動中の公務災害は発生しなかった。 (次年度修正点) ・引き続き、消防団活動中の安全確認の徹底、事故防止啓発を図り公務災害の発生防止に努める。								
	3 (実績評価) ・予定していた日数の夜警を実施できた。(雨天等による中止を除く) (次年度修正点) ・引き続き、適切な夜警活動の実施に努める。								
	4 (実績評価) ・消防水利充足率の算出を見直した結果、整備地区数が増加し、充足率が向上した。 (整備地区593÷全地区718×100) (次年度修正点) ・消防水利未整備地区への消火栓等の新設について、引き続き、伊東消防署・伊東市水道課と協議検討していく。								

2 基本的な取組 (2桁コード) ・主な内容 (4桁コード)	指標数	5	5	5	5	5	※ 基本的な取組・主な内容の達成状況			
	達成数	4	3	0	0	0				
	達成率	80%	60%	0%	0%	0%				
O1 消防団員の確保	達成状況	指標数	1	1	1	1	単位	担当課		
	O101	達成数	0	0	0	0				
		達成率	0%	0%	0%	0%				
主な内容	管理指標	基準値	R3	R4	R5	R6	R7			
O101 地域・事業者等への入団促進に関する広報	広報いとうへの掲載回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回	危機対策課
			実績値	0	0					
年度評価	R4	O101 消防団行事等の実施に伴う広報は掲載できたが、入団促進に関する広報は掲載できなかった。今後は消防団行事等の実施に伴う広報を掲載する際、合わせて入団促進に関する広報を掲載するとともに、年度末等に新規入団者募集の広報を掲載する。								

O2 消防団員の活動環境の整備・向上			達成状況	指標数	2	2	2	2	2		
				達成数	2	2	0	0	0		
				達成率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O201 消防ポンプ車・安全装備品等の更新	安全装備品整備率	R1 100%	目標値	100	100	100	100	100	%	危機対策課	
			実績値	100	100						
			評価	○ 達成	○ 達成						
O202 常備消防との合同訓練等の実施	訓練の実施回数	R1 1回	目標値	1	1	1	1	1	回	危機対策課	
			実績値	3	4						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価 R4	O201 消防団活動に必要な資機材・安全装備品（小型動力ポンプ・活動服・アボロキャップ・編上靴）を購入・支給することができた。										
	O202 秋季消防総合演習（2会場）・熱海市消防団合同訓練・伊豆市消防団合同訓練において、常備消防との合同訓練を実施することができた。										

O3 消防水利の充実強化			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	1	0	0	0		
				達成率	100%	100%	0%	0%	0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O301 水利希薄地域への耐震性貯水槽の適切かつ計画的な建設	消防水利充足率の向上	R1 75%	目標値	76	77	78	79	80	%	危機対策課	
			実績値	76	83						
			評価	○ 達成	○ 達成						
年度評価 R4	O301 消防水利充足率の算出を見直した結果、整備地区数が増加し、充足率が向上した。										

O4 消防団への入団意欲の増強			達成状況	指標数	1	1	1	1	1		
				達成数	1	0	0	0	0		
				達成率	100%	0%	0%	0%	0%		
主な内容	管理指標	基準値		R3	R4	R5	R6	R7	単位	担当課	
O401 ありがとう消防団応援事業所の登録数増加	登録事業所数	R1 24か所	目標値	26	85	90	95	100	か所	危機対策課	
			実績値	79	80						
			評価	○ 達成	× 未達成						
年度評価 R4	O401 消防団各会議等において、消防団員に当該事業を説明し、事業所登録を働きかけるも目標を達成できなかった。商工会議所、飲食業組合等から新規事業所等の情報をいただき、引き続き登録事業所の増加に努める。										